

ホルモン治療抵抗性の前立腺癌 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：(2021年12月22日)～2024年3月31日

〔研究課題〕

非転移性去勢抵抗性前立腺癌における予後予測因子と新規抗アンドロゲン剤治療効果の解明

〔研究目的・研究意義〕

前立腺癌のなかで、転移がないにもかかわらずホルモン治療が効きにくい前立腺癌の方は比較的稀ですが、そういった患者さんの中でどのような特徴を持つ方の病気が悪くなりやすいのか、どのような薬の使い方をすると高い治療効果が得られるかを解明します。

〔対象・研究方法〕

2014年5月1日から2021年3月1日に当院でホルモン治療抵抗性前立腺癌と診断された方の診療録に記載されている身長、体重、血液検査値、治療方法と予後の関係について調べます。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部泌尿器科学講座 責任者：中川徹(泌尿器科学講座主任教授)

千葉大学医学部附属病院、慈恵医大柏病院、茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター、大阪国際がんセンター、久留米大学病院、宮崎大学医学部附属病院、香川大学医学部附属病院、札幌医科大学附属病院、山形大学医学部附属病院、山口大学医学部附属病院、新潟県立がんセンター新潟病院、北海道大学病院、函館五稜郭病院、九州大学病院、鹿児島大学病院、秋田大学医学部附属病院、筑波大学附属病院、静岡県立総合病院、三重大学医学部附属病院、浜松医科大学医学部附属病院、四国がんセンター、名古屋大学医学部附属病院、富山大学附属病院、国立がん研究センター中央病院

〔個人情報の取り扱い〕

氏名・生年月日・住所・電話番号・ID番号などの個人情報はすべて匿名化されてから解析されますので、個人情報がもれることはありません。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただきますことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。また、研究対象に該当するか否かにより、実際の診療内容に影響はすることはありませんし、研究にご協力していただけない場合でも診療上の不利益を受けることはありません。研究終了後に、匿名化された情報の対応表およびデータセットは倫理委員会事務局に提出され、帝京大学臨床研究センターにて10年保管の後に廃棄いたします。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：中川徹(帝京大学医学部泌尿器科学講座主任教授)

研究分担者：金子智之(帝京大学医学部泌尿器科学講座講師)

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表) [泌尿器科内線 33709]